令和6年度 学校経営について

1 学校経営の方針

- (1) 法令や学習指導要領の改訂を踏まえ、県・市の方針、地域や生徒の実態に即した教育を推進する。
- (2) 公教育の立場に立ち、本校の歴史や教育的風土を生かした学校教育を推進する。
- (3) 個性を生かし、生徒が夢と希望をもち生涯にわたってたくましく生きる力を育成する。
- (4) 人権尊重の精神に基づき、知・徳・体の調和ある生徒の育成を目指す教育活動を推進する。
- (5) 常に自己及び職員相互の研修の充実に努めながら、教師としての指導力・実践力を高める。
- (6) 学校、家庭、地域の連携と相互協力のもと、全職員が一体となって教育活動を推進する。

2 学校教育目標・校訓及び目指す学校像・生徒像・教師像

(1) 学校教育目標

確かな学力や豊かな心を身につけ、心身共にたくましく、社会に貢献できる生徒の育成

- (2) 校訓
「**向学**」……自ら考え、進んで学習する生徒
「**克己**」……我慢強く、最後までやり抜く生徒
「**友愛**」……互いに励まし合い、思いやりのある生徒

(3) 目指す学校像・生徒像・教師像

<目指す生徒像> やればできるの気概に燃える生徒

- 1 自ら考え、進んで学習する生徒 「**向学**」
- 2 我慢強く、最後までやり抜く生徒 「**克己**」
- 3 互いに励まし合い、思いやりのある生徒 「**友愛**」

<目指す学校像> やればできるの気風に満ちた学校

- 1 生徒が生き生き活動し、自分に自信が持てる学校
- 2 整然として美しく、秩序とけじめのある学校
- 3 生徒や保護者、地域と信頼で結ばれた学校

<目指す教師像> やればできるの指導に励む教師

- 1 情熱と愛情をもち、生徒を伸ばす教師
- 2 相手を尊重し、協力し合う教師
- 3 自己研鑽に努め、常に前進・向上する教師

(4) 学校スローガン及び生徒会スローガン

全力 協力 感動

- (ふ) 踏み出せ一歩
- (き) 希望を胸に
- (あ) 明日を担う
- (げ) 元気な吹中生

3 特色ある教育活動の推進

- (1) 地域人材及び体験学習等の推進（ふるさと学習、**職場体験学習**、自然体験学習、国際交流学習）及び学んだことを表現する活動の充実
- (2) 小中一貫教育の推進（**母校貢献活動**、合同乗り入れ授業、共通実践事項の徹底）
- (3) 自己指導力のある生徒を育成する取組（**成長促進型の生徒指導**、**生徒会活動の活性化**、道德教育の充実、キャリア教育の充実）

4 本校の重点教育課題

- (1) 確かな学力の定着（「**主体的・対話的で深い学び**」の視点からの授業改善、**インプットからアウトプットへ**、情報活用能力の育成、**個別最適な学びの推進**、家庭学習の充実）
- (2) 心の教育の充実（心に届く生徒指導の充実、**自己指導力の育成**、人権教育、道德教育、キャリア教育の推進、特別活動等の充実、**生徒会活動の活性化**、**読書活動の充実**等）
- (3) 気力・体力つくりと健康教育の充実（教科体育や健康教育の充実、**保健安全指導の徹底**）
- (4) 社会に開かれた教育課程の工夫・改善（**体験活動**、奉仕的活動の充実）
- (5) 落ち着いた教育環境の整備・充実（**縦割り清掃の充実**、凡事徹底）

5 本年度の主な努力点

(1) 確かな学力の定着～「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善～

ア 知識・技能の習得及び思考力・判断力・表現力や学びに向かう力・人間性等の育成を目指す「主体的・対話的で深い学び」の実践と個別最適な学びの充実を図りながら、学力向上に努める。

- ・ 基本的な学習習慣の確立(学業指導と関連して)→「チャイム黙想、6エレメンツ」の徹底
- ・ 言語活動の充実と思考力、判断力、表現力の育成(インプットからアウトプットへ)
- ・ 興味・関心を高め、学習意欲を喚起させる授業の在り方、個別指導や補充指導の充実

<確かめと見届け>・・・**学習のまとめ**→**定着状況の把握**→**補充指導**→**家庭学習への手立て**

(まとめ)・・・「めあてや目標」に呼応した「まとめ」(整合性)
(定着状況の把握)・・・小テスト・確認テストの実施(「今週の間」の活用)
(意欲と自信)・・・「わかった・できた」から満足感、達成感 → 意欲と自信
(机間指導・個別指導・補充指導)・・・意図的・計画的な机間指導
授業中や放課後等の個別指導、実態に応じた補充指導
(次時へのつなぎ)・・・次時を見通した家庭学習の課題と手立て
【板書の構造化】・・・学びの跡、学習の流れがわかる板書
【ノート指導】・・・復習や家庭学習で学びを振り返るためのノート作り

イ 学力検査結果等を活用する。

- ・ 標準学力検査(NRT)、鹿児島学習定着度調査、全国学力学習状況調査、高校入試等の結果を分析し、指導法の改善や指導資料として生かす。
- ・ **効果的にICT機器を活用**しながら、教科横断的に生徒の情報活用能力を育成する。
- ・ 「今週の間」やWeb問題を活用する。(週末課題や長期休業中の課題等)
- ・ 通過率の低かった問題等について、**基礎・基本定着タイム**を活用し補充指導を行う。

ウ 指導力の向上及び職員研修の充実を図る。

- ・ **授業力向上プログラムを活用した研究授業、ミニ研究授業、相互授業参観等**を実施し、授業を通じた研修の充実を図る。
- ・ 言語活動充実のための職員研修を推進する。
- ・ 教科研究テーマの設定及び研究実践、**地区教育論文・実践記録への計画的な取組**を推進する。

エ 家庭学習の充実を図る。(「家庭学習60・90運動」、家庭学習重点週間の取組等)

- ・ 学期毎の家庭学習及び生活習慣の実態調査を実施し調査結果をPTA等で伝え、家庭学習の充実に向けた取組を家庭と連携して行う。**(「3つの時間の徹底、タブレット端末持帰りの活用」)**
- ・ 家庭における携帯・スマホやメディア利用の実態を把握し、改善を図る。
- ・ 教科担や学級担任が連携して課題及び宅習の達成状況の見届けと個別の指導を行う。

オ **読書活動等の推進を図る。**

- ・ 朝読書、**親子読書**、読み聞かせを通して、読書に親しみ、心豊かな生徒を育成する。

(2) 心の教育の充実(心に届く生徒指導の充実、いじめ・不登校への対応等)

ア **自己指導力の育成(自己存在感、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の設定)**

イ いじめ問題の防止については、早期発見・早期指導を心がけ、定期的な実態調査**(学校楽しいーと、SNSチェックシート、QU分析)**や生徒指導部会を中心とした組織的な取組を推進する。実態調査の活用、教育相談の充実、関係機関、SC、SSWとの連携を図る。

ウ 不登校生徒については、家庭・関係機関と連携・支援し、**不登校者数を減らす。**

エ 体験活動(職場体験、宿泊学習、修学旅行、食育等)の充実、人権教育を推進する。

- ・ 教職員自身の人権感覚の育成(人権問題に対する正しい認識)
- ・ **「なくそう差別築こう明るい社会」(県教委作成)の活用**

(3) 道徳教育(「特別の教科道徳」)の充実

ア 特活や学校行事、その他の教育活動との関連を図りつつ、全体的・計画的に全教育活動を通じて道徳教育を推進する。

イ **考え、議論する道徳**の時間の創造に努め、生徒の規範意識の向上、道徳的実践力の育成に

努める。

(4) 特別支援教育の充実（それぞれの生徒の実態に応じた、その子に合った教育活動の実践）

- ア 全職員の共通理解・共通実践に基づく**校内支援体制を確立**する。
- イ **支援が必要な生徒の把握**と個別の支援計画を作成し、適正な支援を行う。

(5) 特別活動の充実、生徒会活動の活性化、キャリア教育の推進

- ア 主体的・自治的に活動する学級活動、生徒会活動の一層の推進を図り、**所属感、達成感、自己効力感**を味わわせる。
- イ 計画的な学級活動の実施、生き方指導を中心とする発達段階に応じた進路学習の充実及びキャリア教育の推進を図る。**（進路情報の適切な提供、事務処理等の適正化）**
- ウ 生徒同士が互いの良さを認め合いながら、望ましい人間関係を醸成し、一人一人の個性が輝く**学級経営の充実（認め合う、励まし合う、支え合う）**を目指す。リーダー育成により自主的・主体的な学級活動を推進する。**（生徒会組織を活性化する新たな取組）**

(6) 保健安全指導の充実

- ア 気力・体力・運動能力の向上と体育授業の充実、一校一運動、部活動の推進に努める。
- イ 心身の健康、薬物乱用防止、性に関する指導等を発達段階に応じて充実、推進する。
- ウ 保健衛生面の生活習慣の確立と疾病・**虫歯の治療率**の向上に努める。
- エ 給食指導や**弁当の日**などの活動を通して、望ましい食生活と食育の推進を図る。
- オ 学校内外の安全点検、**安全指導**、避難訓練を徹底する。（安全マップの作成、**交通安全**、水難事故防止、避難訓練の充実等）
- カ 学校保健委員会の実施と充実及び家庭と連携した「早寝・早起き・朝ご飯」運動、P T Aと連携した登校・安全指導を推進する。**（「3つの時間」の徹底）**

(7) 職員研修の充実

- ア **授業を通じた実践的研修（ミニ研究授業、相互授業参観等）**を行い、実践事項を焦点化して具体的な指導方法の工夫・改善を図る。
- イ 組織的な職員研修及び**個人研究テーマに基づく個人研修の充実**を図る。

(8) 学習環境の整備・充実（落ち着いた教育環境の整備・充実）

ア 縦割り清掃の充実 ・師弟同行による教育環境の整備	凡事徹底
イ 凡事徹底による落ち着いた教育環境	明るくあいさつ （あいさつの徹底）
「相手の目を見て」「笑顔で」「先手の」あいさつ	靴のかかところがそろっている
ウ 学習の場としての教室設営の工夫・改善及び掲示教育の推進	きちんと貼られた掲示物
エ 教材・教具の充実、ICTの効果的な活用	紙くずが落ちていない
	花壇に季節の花が咲いている

(9) 家庭・地域、関係機関との連携

- ・**「3つの時間」の徹底・推進**
- ・学級・学年P T A及び家庭教育学級の充実
- ・小中連絡会の充実と小中一貫教育の深化**（母校貢献活動等の充実）**
- ・地域の人材、地域の持つ教育力を生かした教育活動の推進
- （学校運営協議会「コミュニティースクール」の推進）**
- ・地域活動への生徒、職員の積極的な参加

(10) 服務規律の厳正確保

- ア **交通事故防止、交通法令の遵守**、ハラスメントの防止
- イ 体罰等の禁止、学校盗難（現金）、適切な会計処理、個人情報流出防止

(11) 業務改善の推進

- ア **「業務の簡素化」及び「業務の効率化」、「業務改善の意識化」の推進**
- イ 保護者や地域住民への周知及び協力の依頼